

式 辞

暖かな春の陽射しに包まれて、新緑の若葉に命の息吹が感じられる今日の良き日、西予市生活福祉部長兼福祉事務所長 藤井 兼人様、PTA会長 宮本 敦様をはじめ、多数のご来賓の皆様の御臨席を賜り、平成 30 年度愛媛県立三瓶高等学校入学式を、かくも盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました 25 名の皆さん、入学おめでとうございます。在校生並びに教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

ご存じの通り、本校は、前身の第二山下実科高等女学校の設立から数えて 98 年の歴史を有する、伝統ある学校であり、本校を巣立った多くの先輩方が、現在も各地、各分野で活躍・貢献されています。新入生の皆さんも、どうか三瓶高校生としての誇りを持って、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

さて、三瓶高校には「三高スピリット」と呼ばれる三つの心を大切にしている伝統があります。一つ目は「思いやりの心」です。

小学校、中学校の生活でもそうだったと思いますが、これから始まる高校生活を豊かにするために、将来社会で活躍するためには、これまで以上に、集団の中で、他の人と好ましい人間関係を築き、協力し合いながら生きていく力が必要になります。そこで大切になるのが周囲の人を思いやる心です。自分を大切に思うのと同じようにほかの人も尊重し、助け合う気持ちと行動力を身に付けてほしいと思います。

二つ目は「向上する心」です。

少子高齢化に伴う労働人口の減少はもちろん、ICTやAIに代表される科学技術や地球規模の環境問題は社会に急速かつ大きな変化をもたらしています。国内的にも、国際的にも「これまでのやり方」が通用しない時代です。私たちは誰も出会ったことのない、つまり何が正解かわからない問題を乗り越えていかななくてはなりません。そのためには、知識はもちろん必要ですが、自ら学ぶ主体性と深い思考力、表現力が求められます。社会を生き抜くために、より良い社会を築くために、皆さん一人一人が生涯にわたって、学び、「向上しようとする心」を持ってください。

三つめは「健やかな心」です。

先に述べた「思いやりの心」「向上する心」は「健やかな心」から生まれます。そして「健やかな心」は「健やかな体」に宿ります。これからは規則正しい生活習慣を確立し、授業のみならず、学校行事や部活動を通して、生きていく上で基本となる体と心を鍛え、感動やときめきに満ちた豊かな心を養ってください。

先輩たちが大切にしてきた「思いやりの心」「向上する心」「健やかな心」を受け継ぎ、皆さん一人一人が、自分らしく、生き生きと高校生活を送ることを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございませぬ。私たち三瓶高等学校教職員は、三年後、「三瓶高校を選んでよかった」といっていただけるよう、お子様の成長を全力で支援する所存であります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動の推進に、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日入学した皆さんの高校生活が、健康で輝かしく充実したものとなりますよう心から祈念し入学式の式辞といたします。